

収支計画の改善について

1. 目的

収支計画の時点修正の結果課題となった点を改善し、持続可能な病院経営を行うことを想定した収支計画を策定する。

2. 課題

- ① キャッシュフローが開院 26 年目で資金ショートする点
- ② 地方独立行政法人認可基準である中期計画期間内での黒字化達成

3. 課題①に関する改善点

- ・一般会計からの貸付金の出資化

事業当初の運転資金として一般会計から長期借入金を想定しているため、平成 42 年度から一般会計への返済が開始する想定となっているが、キャッシュフロー改善を目的として返済義務のない出資へ変更する。

4. 課題②に関する改善点

- ・開院当初 5 年間における機器等更新投資額の見直し

現在の設定では開院初年度から一律の機器等更新費用を見込んでいるが、開院当初は新品の機器が多く存在するため、更新投資を一定抑制し、初期導入機器の耐用年数が経過する開院 6 年目以降に本格的な更新投資を実施する。

- ・固定資産に係る控除対象外消費税の計上方法の変更

現行の収支計画では工事、機器等購入で生じる控除対象外消費税を「医業外費用：控除対象外消費税」という科目に複数年にかけて費用化する会計処理方法を採用している。このため、当初事業費に係る消費税が開院後 10 年間損益に影響していることから、黒字化を前倒しするため、取得当年度に一括費用計上する。

5. 現時点で今後変動することが想定される要素

- ・建設工事費の更なる増額

建築資材価格の動向や建築業界における慢性的な人材不足等により、今後も建設工事費が上昇する可能性がある。

- ・予算調整過程における平成 31 年度計画額の修正

今回の時点修正において、平成 31 年度の計画額を予算要求額に置き換えているが、今後予算調整過程において予定額の増減が当然見込まれるため、当初予算提案額とは乖離が生じる可能性が高い。

収支計画比較表(H29.11特別委員会提出～H30.11時点修正+経営改善)

【収益的収支】

区分		年度		差額	主な修正事項
		新 平成34年度	旧 平成34年度		
収 入	1. 病院事業収益(a)	3,729,649	3,840,628	-110,979	
	(1) 医療収益(ア)	3,229,054	3,326,323	-97,269	
	入院診療収入	1,944,759	1,944,759	0	
	室料差額収益	51,404	51,404	0	
	外来診療収益	837,767	992,478	-154,711	土曜休診影響分を考慮した下方修正
	公衆衛生(健診等)収益	150,648	150,648	0	
	一般会計繰入金①	155,883	187,034	-31,151	繰出金のうち、小児医療及びリハビリテーションに係る繰入金を医療外収益の繰入金に移行
	介護関係収益	70,531	0	70,531	新規計上
	訪問リハビリ収益	18,062	0	18,062	新規計上
	(2) 医療外収益(イ)	468,042	457,792	10,250	
	一般会計繰入金②	137,262	106,851	30,411	医療収益の繰入金のうち、小児医療及びリハビリテーションに係る繰入金を移行
	一般会計繰入金③	29,546	27,233	2,313	事業費増加に伴う企業債発行額の増額
	国県補助金	5,273	0	5,273	湖南広域行政組合からの二次救急に伴う補助金を計上
	長期前受金戻入	290,808	318,555	-27,747	医療機器等更新費の抑制
	その他医療外収益	5,153	5,153	0	
	雑収入	5,153	5,153	0	
	(3) 特別利益	32,554	56,513	-23,959	
	長期前受金戻入	32,554	56,513	-23,959	開院前に取得する医療機器等(当初事業費分)の導入年度の変更(H31→33)
	土地売却却益	0	0	0	
その他特別利益	0	0	0		
支 出	2. 病院事業費用(b)	3,813,746	3,828,405	-14,658	
	(1) 医療費用(エ)	3,653,190	3,578,330	74,860	
	給与	2,170,906	2,111,525	59,381	
	給料(賞与を含む)	1,692,831	1,644,999	47,832	
	退職給付引当金	173,136	168,762	4,374	訪問介護、訪問リハ、居宅介護支援事業の追加。
	法定福利費	304,938	297,764	7,175	
	材料	426,262	449,864	-23,602	
	薬品費	262,392	276,981	-14,589	診療収益下方修正に伴い連動して減少
	診療材料費	159,995	168,891	-8,896	
	医療消耗備品	3,875	3,992	-117	
	経費	533,758	453,427	80,331	設備等関係費用の増額修正
	貸倒引当金繰入額	3,000	0	3,000	看護学生への修学資金貸付金の引当金計上
	減価償却費	510,104	554,354	-44,250	医療機器等更新費の抑制
	研究研修費	9,160	9,160	0	
	(2) 医療外費用(オ)	160,556	250,075	-89,519	
	企業債利息	59,093	54,467	4,627	事業費増加に伴う企業債発行額の増額
	繰延勘定償却	4,545	104,880	-100,335	固定資産に係る控除対象外消費税を取得年度に一括費用化することによる減
	雑損	96,918	90,728	6,190	経費等見直しによる消費税額の増加
	(3) 特別損失(キ)	0	0	0	
	固定資産売却損	0	0	0	
過年度損益修正損	0	0	0		
その他特別損失	0	0	0		
医療損益(ア)-(イ)(A)	-424,136	-252,007	-172,129		
経常収支(ア)+(イ)-(エ)-(オ)	-116,651	-44,290	-72,361		
病院事業損益(a)-(b)(B)	-84,097	12,223	-96,320		

【資本的収支】

区分		年度		差額	主な修正事項
		新 平成34年度	旧 平成34年度		
収 入	1. 資本的収入(c)	185,076	407,386	-222,310	
	(1) 企業債	50,000	202,000	-152,000	
	新病院当初事業費分	0	0	0	
	新病院更新分	50,000	202,000	-152,000	
	医療機器・システム等更新	50,000	202,000	-152,000	医療機器等更新費の抑制
	病院設備更新		0	0	
	病院外構更新		0	0	
	立駐設備更新		0	0	
	立駐外構更新		0	0	
	(2) 一般会計繰入金	135,076	205,386	-70,310	
	一般会計繰入金③	135,076	205,386	-70,310	医療機器等更新費の抑制
	一般会計繰入金③'		0		
	(3) 国交付金	0	0		
社会資本総合整備交付金	0	0			
支	2. 資本的支出(d)	323,152	612,772	-289,620	
	(1) 建設改良費	50,000	202,000	-152,000	
	新病院当初事業費		0	0	
	新病院更新分	50,000	202,000	-152,000	
	医療機器・システム等更新	50,000	202,000	-152,000	医療機器等更新費の抑制
	病院設備更新		0	0	
	病院外構更新		0	0	
	立駐設備更新		0	0	
	立駐外構更新		0	0	
	(2) 企業債償還金	270,152	410,772	-140,620	
	新病院関係分	270,152	410,772	-140,620	
	(3) 他会計借入金償還金	0	0	0	
	他会計借入金返済金	0	0	0	
(4) 投資	3,000	0	3,000		
看護学生修学資金	3,000	0	3,000	看護学生への修学資金貸付金	
資本的収支(c) - (d) (E)	-138,076	-205,386	67,310		